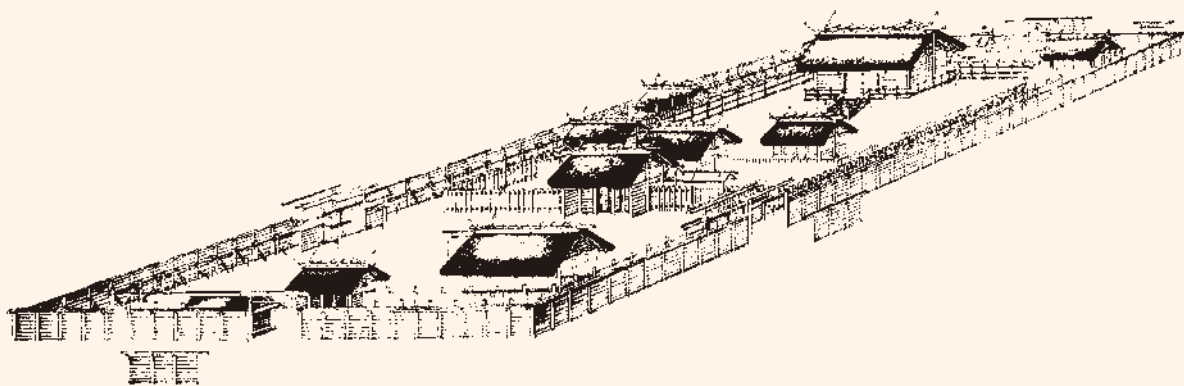


近世・近代の歴史意識と建築

加藤 悠希（竹中大工道具館研究員）著



A5判上製函入 本文三三〇頁 図版三四点

本体価格一、〇〇〇円＋税

ISBN 978-4-8055-0729-2 C3052

近世・近代の日本において、過去の建築や建築の歴史に対する関心・知識はどのようなものであったか。

伊勢神宮の考証・有職故実の研究・豊臣秀吉にまつわる建築の由緒、という三つの事例から、当時の人々が建築へ向けた視線と、そこに投影される歴史意識について検討する。

本書では歴史意識と建築との関わりという視角から三つの事例について検討を行う。ここで歴史意識という言葉を使ったのは、歴史を通して自らを世界の中に位置付けようとする態度が建築に投影される、という様相に注目したためである。

それは、古代にあるべき理想を求め、あるいは変遷の構図を描く、などといったかたちであられ、主体が異なれば投影されるイメージも異なってくる。本書の内容を「建築史学前史」といつても間違いとはいえないが、建築そのものだけでなく、建築に投影されるさまざまなイメージも含めて、建築をめぐる文化史としてそれら全体を描き出すことができれば、建築史学前史の枠にとどまらない、より大きな意義を有するものと考えている。

（本書 序章より）

お取り扱いは

中央公論美術出版

〒104-0031 東京都中央区京橋 2-8-7
Tel: 03-3561-5993 Fax: 03-3561-5834

目次

序章	〈各部の概要〉
第一部 伊勢神宮における殿舎の復古と考証	第一部
第一章 慶安・寛文期の殿舎再興における儀式帳の役割	伊勢神宮では、近世・近代を通じて殿舎・儀式等の再興や復古が大きな課題となった。その再興・復古の前提となるのが古制に関する考証である。伊勢神宮では殿舎の古制について明らかにしようとする考証が近世以来行われ、古制に対する知識は幾多の修整を経ながら文献や復元図といったかたちで蓄積されていった。第一部ではそれらの考証の背景や性質を、式年遷宮における造営との関わりを中心に検討する。
第二章 近世中期における殿舎の考証とその意義	
第三章 近代の式年遷宮における造営体制の変化と考証	
第二部 有職故実における公家・武家邸宅像	第二部
第四章 『家屋雑考』の流布と「寝殿造」の定着過程	近世・近代には、主に有職故実という学問の一部として過去の武家・公家邸宅に関する関心・知識がさまざまにみられた。第二部では、それらの多様な関心・知識のあり方を紹介するとともに、「寝殿造」「書院造」という用語・形式概念を提示したものと日本住宅史の研究史に重要な位置を与えられてきた沢田名垂『家屋雑考』の歴史的立場づけを再検証する。
第五章 近世における過去の武家邸宅像について	
第六章 明治期における過去の武家邸宅像について	
第七章 有職故実家松岡行義の邸宅に関する知識について	
第三部 秀吉をめぐる建築と由緒	第三部
第八章 聚楽第・伏見城・豊国社遺構説の萌芽	第三部では、豊臣秀吉の建てた聚楽第・伏見城、あるいは秀吉を祀った豊国社から移築されたという由緒の語られる建物を取り上げる。ただし着目するのは、個々の由緒の真偽ではなく、そのような由緒が建築に付随し、そのことで建築に新たな価値が認められるようになる、という点である。主に地誌の記載を対象として、遺構説の語られる時期やその性格を中心に考察を行う。
第九章 一八世紀における聚楽第・伏見城・豊国社遺構説	
終章	
あとがき / 索引	

著者略歴

加藤 悠希 (かとう・ゆうき)

1981年生まれ。2003年東京大学工学部建築学科卒業、2010年同大学大学院工学系研究科建築学専攻博士課程修了、博士(工学)。日本学術振興会特別研究員(PD)を経て、現在は公益財団法人竹中大工道具館研究員。主な著作に『大名江戸屋敷の建設と近世社会』(共著、中央公論美術出版、2013年)など。

本書を おすすめする方

日本建築史、住宅史、伊勢神宮、有職故実、国学、思想史、史学史、国文学、文化史、日本史(近世・近代史)を対象としている研究者、学芸員、学生、研究室、大学図書館、公共図書館。

〈関連書籍〉

裏松固禪「院宮及私第図」の研究

藤田勝也 編 本体価格 65,000 円＋税
A3判横上製函入 口絵 254 頁 本文 70 頁 挿図 44 点
ISBN 978-4-8055-0539-7 C3052 2007年2月刊

萩藩江戸屋敷作事記録

作事記録研究会 編 本体価格 33,000 円＋税
B5判上製函入 口絵 4 頁 本文 568 頁 附録図 10 枚
ISBN 978-4-8055-0695-0 C3052 2013年2月刊

源氏物語絵にみる近世上流住宅史論

赤澤真理 著 本体価格 12,000 円＋税
A5判上製函入 口絵 8 頁 本文 236 頁 挿図 52 点
ISBN 978-4-8055-0605-9 C3052 2010年2月刊

大名江戸屋敷の建設と近世社会

作事記録研究会 編 本体価格 12,000 円＋税
A5判上製函入 本文 380 頁 挿図 48 点
ISBN 978-4-8055-0708-7 C3052 2013年12月刊